

「仲間と出会うきっかけの場」思いがつながるポータルエリア

地元にいる人/外に出ている人/富山に興味やこだわりのある人、様々なかたちでとやまに思いのある人達が、場所と時間を越えてつながっていくポータルエリアを、構想を実現するための県民主体・主導のまちづくり組織・仕組みと併せて提案します。

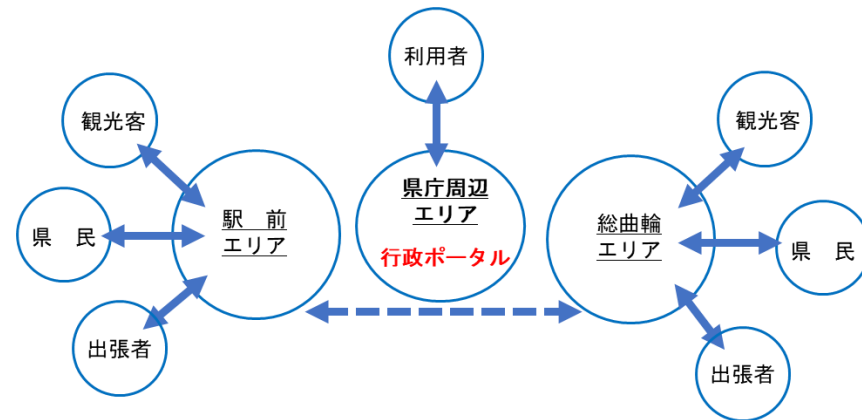
■地域課題と提案内容：何でやるのか？どんな場とするのか？

本エリアは公官庁エリアであり、行政目的利用のみの傾向が顕著に表れており、商業利用目的の駅前エリアと総曲輪エリアの人の流れを分断する形となっています。

この為、従来の行政目的利用に加えて、街に出る人が立ち寄りしたくなる都市機能を、駅前と総曲輪エリアの真ん中にある立地性を活かし提案します。

従来のハコモノ整備・活用アプローチでは、施設事業者による一方的・画一的なスポットイベント・情報発信となりやすく、多様な趣味趣向/訪問目的を持つ人同士が「集い～参加～交流し続ける」場とはなっていません。

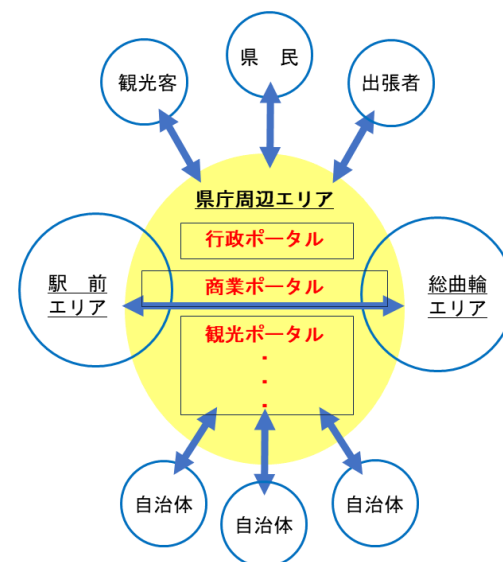
このため、県/市の中心・ポータルとしての立地を活かして、多様な趣味趣向を持つ個人が「気軽に立寄り～ついで参加・交流」する「きっかけ/出会いの場」を提供することで、自分の居場所/サードプレイス（参加コミュニティ）を発見するために立ち寄り、ポータルエリアを目指します。



■導入機能と推進組織：どうやって推進するか？

県庁/市役所としての行政ポータルに加えて、各種のポータル機能を参加型コミュニティ活動に拡大することで、様々な思いの人が訪れ・出会い・繋がっていけるエリアとしていきます。

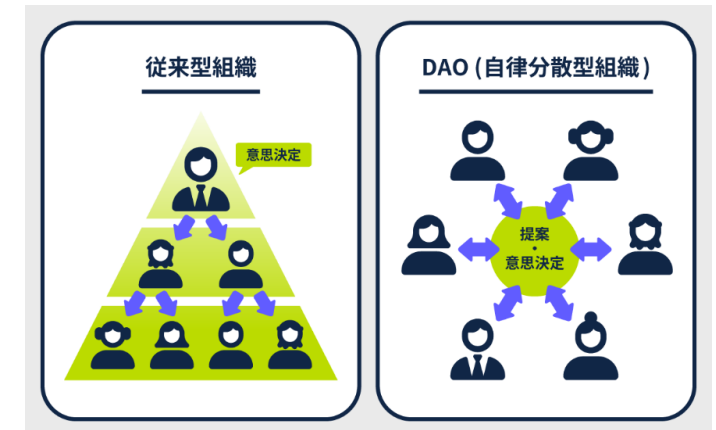
具体的な導入ポータル機能の検討は、デジタル県民主体とする街づくり DAO からの機能提案を受けて、地元エリアマネジメント組織が、県民（提案・参加者）主導で街なかを実装していきます。



■県民主体の構想づくり/県民主導の街づくり：どうやって実現するか？

街づくり DAO とは、富山に思いのある、地域住民（富山市内）/富山県民

（富山県内）/富山県人（全国）/富山県ファン（全世界）が、富山の情報発信中心として求められるポータル機能を、デジタルコミュニティ内で議論・検討し、Web 3 技術を用いた多数決投票により、賛成者（人数・内訳等）と併せて、エリアマネジメント組織に機能提案する、新たな県民参加型の街づくりの仕組みです。

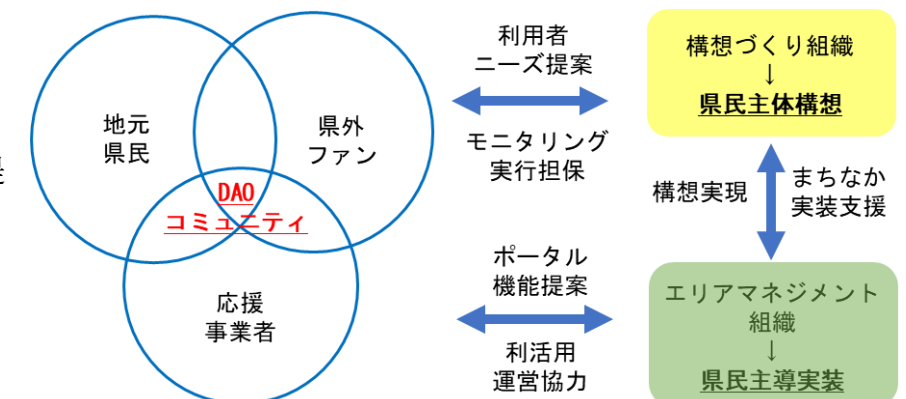


ガイアックス HP より抜粋

※石破新政権の公約「地方創生 2.0」において、平将明デジタル大臣は「10 年前に地方創生担当副大臣を務めていたときにはできなかったことが今、デジタルが進化してできるようになった。ブロックチェーン、DAO（分散型自律組織）、NFT などを使って、地方が持つアナログの価値を最大化できると思っている」と騙っている。

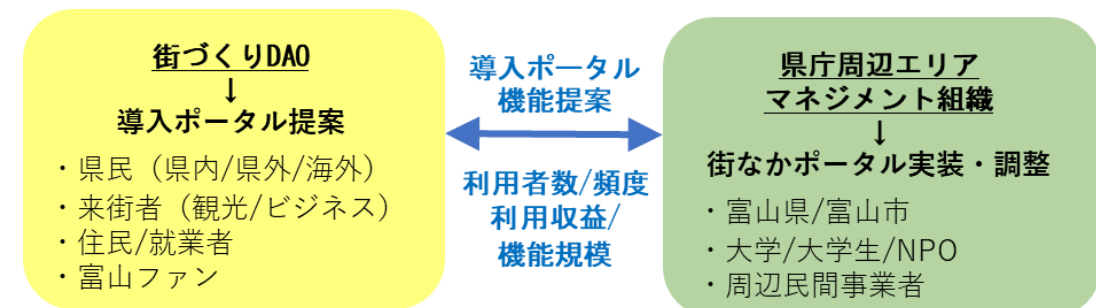
デジタル県民からのポータル提案を、エリアマネジメント組織が街のハードに落とし込み、リアルな出会い・交流の場を提供します。

デジタル県民が主体となって構想に関わり、実装提案し続けることで、構想の継続性をモニタリングすると共に、構想の実効性を担保します。



■エリアマネジメント活動：どのように街なか実装するか？

連携するエリアマネジメント組織が、デジタル県民（街づくり DAO 投票賛成者）からの提案について、地元受皿との調整・連携を通じて、提供機能規模・場所の決定～リアルポータル・交流施設整備～投票賛成者を主体とする利用プロモーション/運営共創～活動フィードバック・改善提案等を行い、各種活動ポータルの街なか実装を支援します。



■導入ポータル機能：どのようなポータル機能を検討するか？

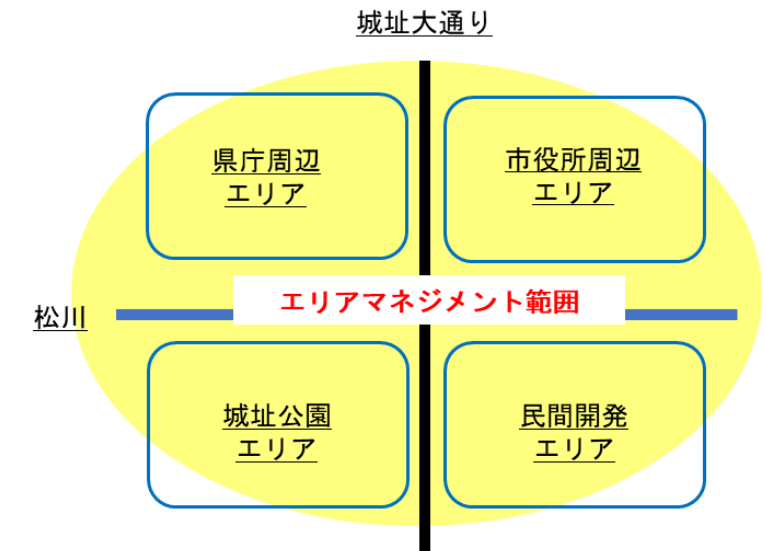
街づくり DAO で検討されるサードプレイス活動/体験ポータル機能として、次のような機能テーマでの提案を想定しています。

街づくり DAO		
検討テーマ例	ポータル機能例	街なか導入イメージ
① スポーツ	プロチーム・ファンコミュニティ/交流試合・ファインイベント/グッズ開発/アマチュア活動支援	プロチーム・ファンクラブ共同出張所/ファン交流イベント・物販会場/アマチュア活動・交流所/eスポーツ部室/ウォーキング・ランニング・サイクリングステーション …
② 文化	特産品開発/伝統行事・祭り・工芸体験/e スポーツ/漫画・アニメ活動	デジタル図書館/生産・製造者交流物産館/地域祭り体験/旅前・旅中・旅後支援コミュニティ活動場所/自治体観光・工芸体験イベント会場/シニアガイド育成場/乗合タクシー・各種手配/VR 観光体験・プロジェクションマッピングツアー/新店・人気店ポップアップ店舗/お土産受取冷蔵ロッカー …
③ 観光・宿泊	メジャー～マイナー観光・映えスポット案内/観光テーマ別ガイド育成・手配(予約・交通手段確保)	飲食チャレンジャー夜市・屋台村/クリエイターズラボ/産学連携・大学起業・インキュベーション施設/キッズニア・ローカル職業体験施設/企業交流・マッチング施設/移住促進・お試し移住施設 …
④ 飲食	嗜好別店舗紹介・応援(予約・交通)/人気店体験/お土産・EC サービス開発	防災グランピング(テント・トレーラー・コンテナハウス活用)、オープン・カーシアター施設(駐車場・公園活用) …
⑤ 起業	アーティスト・クリエイター活動・共創/地元産業継承/ファンサービス事業開発	etc.
⑥ 職業体験	お試し～インターン職業体験/企業紹介・就職案内	
⑦ 地域防災	フェーズフリー体験・商品サービス開発/仮設活用サービス開発/地域内エネルギービジネスモデル開発	

■エリアマネジメント範囲：どの範囲で実施するか？

行政ポータルとしての県庁・市役所施設エリアをベースに、新たな機能導入・再編余地としての城址公園エリア及び民間連携・分担を実現するための民間開発エリアを含めた範囲を以下の観点でプロデュースします。

- ・富山に思いのある人同士をつなぎ支援する場
- ・新たな発見/出会い(サードプレイス)を見つけられる場
- ・地域間競争ではなく、地域間共創/共生、エリア価値向上の場(駅前エリア/総曲輪エリアとの連携・送客等)
- ・県内自治体との文化・産業・観光開発・交流・PR の場
- ・公民連携/役割分担により、機能補完/支援しあえる場



■エリマネ活動展開：どのようなステップで街なか実装するか？

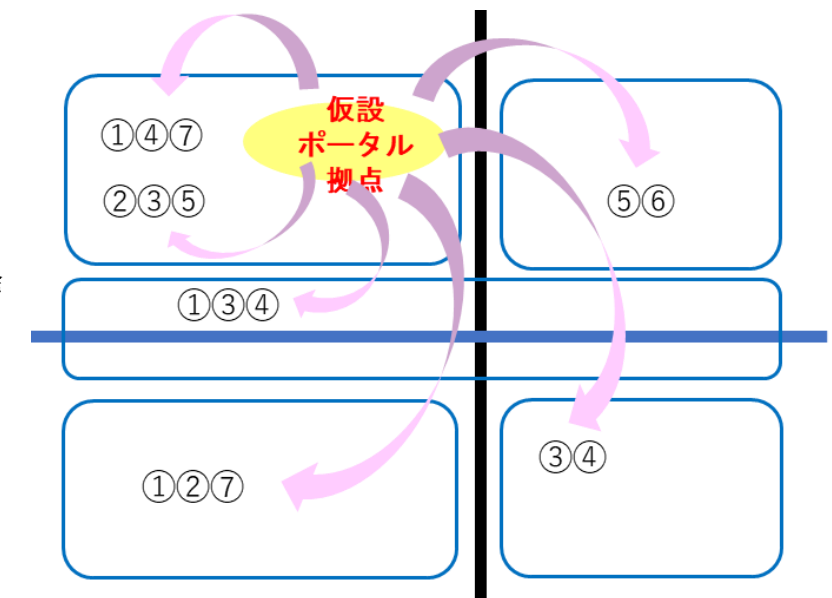
街づくり DAO は、県庁周辺エリアの構想と合わせてポータル機能提案を行うため、エリマネ組織の組成時から地元側でのリアルな活動拠点が必要となります。このため当面は、NHK 跡地にフェーズフリー施設として、コンテナ/トレーラーハウス等の仮設施設で暫定ポータル活動拠点を整備します。

仮設期間中はポータル開発拠点として、来街者・利用者への認知向上・交流促進を行います。

そのうえで、エリア内の開発状況に応じて、街なかへのポータル機能実装と合わせて、段階的に機能移転していきます。

これにより、エリア開発の時間軸に合わせた、機能導入・配置を進めることで、計画的な構想の実現と継続的街づくりを実現します。

これらの活動を通じて、周辺民間開発との機能連携・分担や県庁施設の利活用及び NHK 跡地の最終活用方針も決定していくこととなります。



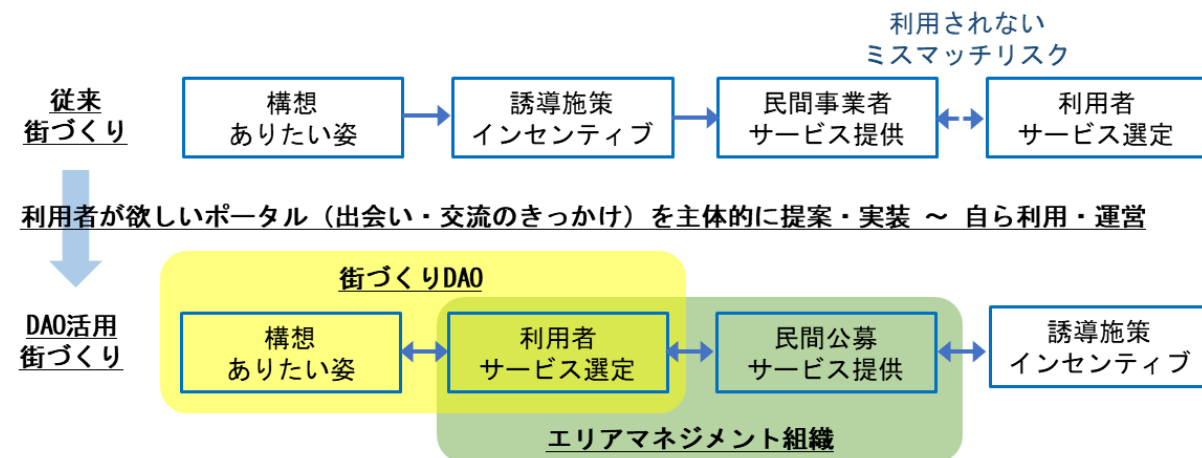
■公民連携によるエリアマネジメント：どのような補完・連携するのか？

従来の公民連携は、自治体が構想（ありたい姿）をつくり、誘導施策・インセンティブにより民間事業者を呼び込み、利用者へのサービス提供を提供する一方向の流れであったため、十分に利用されない施設整備となることも少なからずありました。

街づくり DAO は、自治体の構想づくりの段階から、県民自身が参画する活動/サービスを利用者と共創検討し、行政がこれらの機能をエリア実装するための誘導施策・インセンティブを検討する流れをとることで、導入機能の利用ミスマッチ（使われない施設）を回避する、エリアマネジメントアプローチです。

エリアマネジメントの本質は受益者負担が原則ですが、本エリアは行政機能が中心のため明確な受益者が存在しません。

行政機能自体が公共の福祉のための機能という点を鑑みれば、間接的受益者となる県民延いては富山ファンに、資金的負担の代わりにアイデア提供～活動・推進参加してもらうことで、導入機能の運営コストの低減をもって受益者負担とする考えです。



出会い・交流の場となるポータル機能は、利用者となる県民主体で導入することで、運営コストを独立採算とするには有効ですが、ハード整備費等のインシヤル投資を回収できるほどの事業性は見込めないことが想定されます。

このため、導入ポータル機能は現県庁施設をはじめとする既存ハードの改修利用やインシヤル負担の少ない仮設（コンテナ/トレーラーハウス）施設、非常時公共活用と併せたフェーズフリー施設としての整備の必要があると考えます。

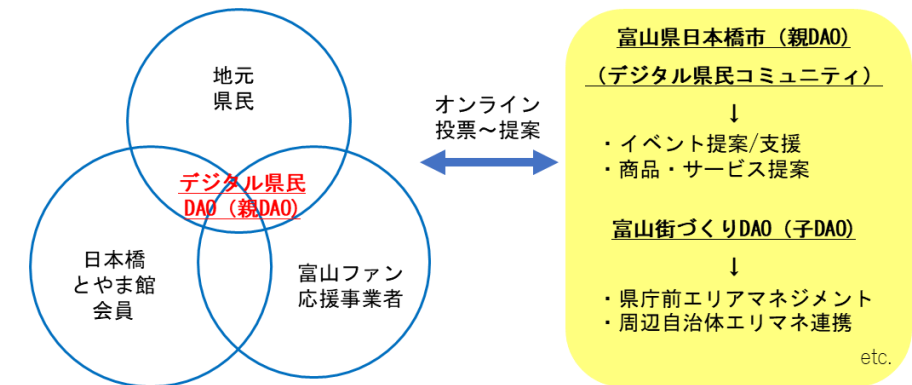
一方で、新たな県庁機能については、行政ポータルとしてのエリア内機能維持やコンパクトシティを推進するうえでも、本エリアマネジメント内での再整備が不可欠です。

エリアマネジメント組織は、初期投資負担の軽減と周辺民間開発の促進という観点から、県庁機能の周辺民間施設へのテナント入居（富山市 PPP 事業：桜ビルスキーム）の可能性や、民業圧迫とならないためのエリア内機能調整（ホテル機能分担：本館/アネックス、宴会機能分担等）、ウォーカブルなエリアとしての松川縁開発（一方向道路付け替え検討）、容積緩和による民間開発推進提案等、公民連携におけるミスマッチロスの解消と連携インセンティブ提案を通じて、エリア価値向上のための各種調整を担います。

■街づくり DAO の構築：どのようにデジタルコミュニティをつくるのか？

現在、日本橋とやま館と連携して、仮想の富山県日本橋市を目指した、富山デジタル県民プロジェクトを推進中です。

日本橋とやま館の会員（4～5,000人）をベースに、東京に住む富山県人や富山ファンが地元の起業マインドを持つ人達と連携して、DAOにより物産館で提供するサービスや交流イベントを企画する他、地元富山と連携したサービス・商品開発を行うことを目指しています。



街づくり DAO は、このデジタル県民 DAO を活用した各種ポータル活動を通じて、富山の街での起業/サービス提案を行います。また、地元エリアマネジメント組織と連携して、デジタルコミュニティを入口とした関係人口拡大、I/U ターン起業や二拠点活動等、交流人口の拡大を視野に入れたた支援活動としていく考えです。

■出会い・交流を促進するハード施策：ウォーカブルなエリアとするには？

本エリアを富山市のポータル機能を提供する、新たな「情報・交流拠点/セントラルパーク」として位置づけた、現有公共敷地・施設の利活用・整備方策を、時間軸を含め中長期的に検討することが必要です。

そのためには、街づくり DAO が、駅前/総曲輪エリアのエリマネ組織や周辺自治体との機能連携提案を担い、地域のエリマネ組織連携のための横串となることを目指します。

エリマネ組織は、喫緊の課題である駅前/総曲輪エリアとの一体性の確保に向けて、まずはここに来て情報収集し、駅前/総曲輪に繰り出す「シャワーエリア」として、富山駅前～市役所前のバス路線の無料運行を検討します。

また、利用者主体のウォーカブルな街づくりに向けて、エリア内での歩行回遊性を確保するためのペDESTリアンデッキの整備等、公側の誘導施策支援と併せたハード整備を検討・計画していきます。

